This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

4

Title: JP4029399A2: CABLE HOLDER

용Derwent Title: Low cost cable holder - has soft elastic rubber cable holding tool and

insulated base material on circuit board NoAbstract Dwg 1,2/4

[Derwent Record]

JP Japan Country:

용Kind:

ষ্ট Inventor: HATORI KAZUO;

ASAITAKAO:

FUJITSU LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

₽Published / Filed: **1992-01-31** / 1990-05-24

> JP1990000136317

Number:

§IPC Code: H05K 7/00; G02B 6/00; H05K 7/06;

Priority Number: 1990-05-24 JP1990000136317

ଟ Abstract:

PURPOSE: To safely and easily hold a cable wired on a circuit board or the like removably by inserting the cable from an opening gap from between an elastic rubber and the end of a cable holder to be generated by pressing the rubber to inside of the U-shaped bend

of the holder to be held.

CONSTITUTION: A soft elastic rubber 1b adhered to an insulating base 1a, and a cable holder 1c bent in U-shape, mounted to protrude at one base part through the base 1a and at the other end in contact with the rubber 1b are provided. In order to hold a cable 3 wired on a circuit board 2 such as an optical fiber cable, the rubber 1b is retained by the finger tips to form an opening gap A between the rubber 1b and the end of the holder 1c, the cable 3 is inserted from the gap A inside the U-shape of the holder 1c to be held. Thus, the cable 3 can be easily held, removed, held safely to improve operability, economy and reliability.

COPYRIGHT: (C)1992,JPO&Japio

 Family: None

DERABS G92-085640 DERG92-085640

Info:



View **Image**

1 page

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

04-029399

(43) Date of publication of application: 31.01.1992

(51)Int.CI.

G02B 6/00

H05K 7/06

(21) Application number: 02-136317

(71)Applicant:

FUJITSU LTD

(22) Date of filing:

24.05.1990

(72)Inventor:

HATORI KAZUO

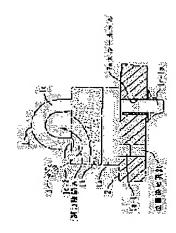
ASAITAKAO

(54) CABLE HOLDER

(57) Abstract:

PURPOSE: To safely and easily hold a cable wired on a circuit board or the like removably by inserting the cable from an opening gap from between an elastic rubber and the end of a cable holder to be generated by pressing the rubber to inside of the U-shaped bend of the holder to be held.

CONSTITUTION: A soft elastic rubber 1b adhered to an insulating base 1a, and a cable holder 1c bent in U-shape, mounted to protrude at one base part through the base - 1a and at the other end in contact with the rubber 1b are provided. In order to hold a cable 3 wired on a circuit board 2 such as an optical fiber cable, the rubber 1b is retained by the finger tips to form an opening gap A between the rubber 1b and the end of the holder 1c, the cable 3 is inserted from the gap A inside the U-shape of the holder 1c to be held. Thus, the cable 3 can be easily held, removed, held safely to improve operability, economy and reliability.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出版公開

◎ 公開特許公報(A) 平4-29399

❸公問 平成4年(1992)1月31日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

◎発明の名称 ケー

ケーブルホルダ

②特 頭 平2-136317

❷出 颐 平2(1990)5月24日

@発明者 羽 胤

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

您発明者 浅井 陸 雄

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

四出 顋 人 富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015群地

窗代 理 人 弁理士 井桁 贞一

開 妍 主

1. 発明の名称

ケーブルホルダ

2. 特許請求の範囲

超縁性基白(1a)と、設蓄合(1a)の表面に態敗した軟質弾性ゴム(1b)と、U字形に曲がりその一方の基部を削記基白(1a)に質硬突出して譲設し他方の光端を削記弾性ゴム(1b)に衝接するケーブル保持具(1c)とからなり、前記弾性ゴム(1b)と短弾性ゴム(1b)を抑して生じる前記ケーブル保持具(1c)の先端との開口線間(A)からケーブル(3)をケーブル保持具(1c)のU字掛げの内側に接通し保持することを輸放とするケーブルホルダ。

3. 発明の詳細な説明

〔键要)

回路基板などに配線したケーブルなどのケーブ ルホルダに関し、

卸路基板などに配線したケーブルを安企で容易

w64d Jangaja/Talajar/jantered.mija79.0000-21&N0400-imgy/gl&0401-n%41ThP/web316/20031104113603254762-gl&N0703-1&N0347-&N0348-&N0349-&N0704-0E_N/%335K3I-6N3666//////

に保持し、取り外しできることを目的とし、

総縁性整治と、額基台の表面に勘設した軟質弾性ゴムと、U字形に曲がりその一方の基盤を前記 数台に貫通交出して複数し他方の先端を前記弾性 ゴムに衝接するケーブル保持具とからなり、前記 弾性ゴムと抜弾性ゴムを弾して生じる前記ケープ ル保持具の先端との関口隙間からケーブルをケー ブル保持具のU字曲げの内側に挿道し保持するように模裂する。

(産業上の利用分野)

本発明は国際各板などに配線したケーブルなど のケーブルホルダに関する。

回路差級などに配換したケーブルなどの保持、 取り外しの容易なケーブルホルダが要望されている。

〔従来の技術〕

従来のケーブル固定会長11は振く図の経規図に 添すように、長手方向両型に切欠さ11a-1 を有し ...

特閣平4-29399(2)

てじ字形に折垂形成したケーブル保持部11a とこのケーブル保持部11a の両端に一体突襲した取付 見11b を備えてなり、ケーブル固定金易11の取付 足11b を固路蓄板12のスルーホール12a に平田付けし、ケーブル保持部11a に搏動した光ファイバケーブル35を切欠き11a-1 に適した2点額線で新すサイロンバンド14により縛り保持している。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、このような上記構造によれば、 光ファイバケーブルを外す場合、縛ったナイロン パンドを刃物で切って外すことから手間が掛かり、 また金属製であることからエッジで元ファイバケ ーブルを悔付ける恐れがあるといった問題があっ た。

上紀問題点に趨み、本発明は回路差級などに配 繰したケーブルを安全で容易に保持し、取り外し できるケーブルホルダを提供することを目的とす る。

弾性ゴムは元に戻って開口顧問は消滅し、弾性ゴムの弾性を利用して挿通したケーブルを外れることなく保持することができる。

(実施與)

以下図面に示した実施側に基づいて本発明の壁 管を詳細に説明する。

第1 図の斜視線及び第2 図の側板面図に示すように、ケーブルホルグ 1 は合成樹脂材でなる地縁性を台10と、この絶縁性路台10の表面にゴム16、例を整列(図示照)で貼設した軟質弾性ゴム16、例の金線をひず形に曲げその一方の装部1c-1を絶縁性を設めてインサートモールドによりを設けする取付定1c-1a となる) 他方の気持足に半田付けする取付定1c-1a となる) 他方の気持足にとて構成する。なお、絶縁性落台10の取付面にはとて構成する。なお、絶縁性落台10の取付面にはさたアーブル保持及1cのインサートモールドと同時

(提盟を解決するための手段)

上記目的を達成するために、本範明のケーブルホルグにおいては、絶越性基合と、接基合の表面に貼設した軟質弾性ゴムと、U字形に曲がりその一方の基節を前記基合に貫通突出して超設し他方の先端を前記弾性ゴムに掛接するケーブル保持具の先端との関ロなり、前記弾性ゴムと該弾性ゴムを押して生じる前記ケーブル保持具のU字曲げの内側に排過し保持するように構成する。

(作用)

総縁性整台の要面に貼取した飲質別性ゴムと、 一方の整部を基台に貫通突出して複数したU字形に曲がるケーブル保持具の他方の先端を等性ゴムに衝接し構成することにより、弾性ゴムを指先などで押し圧縮すると弾性ゴムとケーブル保持具の 先端との間に関ロ線関を形成することができ、その間口隙間からケーブルをケーブル保持具のU字曲行の内割に増通することができ、指先を離せば

に一体成形する。また、ケーブル保持身1cのU字曲がの大きさは保持するケーブル3の直径あるいは水数に対応するように種々の寸法に能が成形する。

このケーブルホルゲは、第3図の実装状態を示す一部破断を含む側面図のようにその位置決めピン1a-1を図路整額2の位置決め孔2bに挿入し、その取付足1c-1a を回路器額2のスルーホール2aに接入して半田付け間定する。

型路基板2に配額されたケーブル3、例えば光ファイバケーブルを保持するには軟質弾性ゴム1bを指先で押さえて軟質弾性ゴム1bとケーブル保持具1cの光端との間に関口隙間Aを形成し、その間口隙間Aから光ファイバケーブル3をケーブル保持具1cのU字形の内側に構造し保持する。

このように、本発明のケーブルホルダは絶縁性 基台の表面に軟質弾性ゴムを貼設しリ字形に曲が るケーブル保持具を値設し構成することにより、 指先などで軟質弾性ゴムを押してケーブルを挿過 する閉口設闘を簡単に形成することができ、関ロ

特開平4-29399(3)

数語から極速したケーブルを映覧弾性ゴムの弾性を利用してケーブル保持長のび字曲げの内側で飛 軟に保持することができる。ケーブルの保持、取 り外し動作は従来のナイロンパンドに比べて指先 程度の提作で手短かに行うことができ、ナイロン パンドのように使い捨てでなく反復使用できて経 路性が高い。

また、軟質弾性ゴムはケーブル袋面に傷を付ける恐れなく姿勢などを吸収し安全に保持することができ、とくに上記実施剤のように光ファイベケーブルなどの保持に適用してその効果を顕著に発揮することができる。

(発明の効果)

以上、評価したように本発明によれば、ケーブルホルダを用いることにより、ケーブルの保持、取り外しが容易で、しかも安全に保持することができ、ケーブル保持に対し作数性、経済性、信頼性などを改善することができるといった産業上径のて有用な効果を発揮する。

4. 図面の簡単な影頻

第1回は本発明による一実施例の斜視図、

第2図は第1図の側断面図、

第3図は第1図にケーブルを排通する時の一部 吸断を含む側面図、

第4回は従来技術による終視図である。

図において、

1はケーブルホルダ、

la 位地縣性墨台、

!bは軟質弾性ゴム(ネオプレンスポンジゴム)、 lcはケーブル保持長、

3 はケーブル(光ファイパケーブル)、

Aは関口隙間をそれぞれ示す。

代理人 弁理士 井 桁 頁 一次有效

